

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	産業建設部 維持管理課		No.	1
事業名	土地改良施設維持事業			
総合計画の 体系	基本目標	5	未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	基本施策	2	産業・経済	
目的	農業経営の合理化を図るため、用排水路の計画的な維持管理を行う。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化の進んだ土地改良施設の更新を行い、農業労力の軽減、農業用車両の安全確保、用排水路の通水不良の改善等、農業経営の合理化を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 道路、河川及び橋りょう工事を含め合理的に整備ができるように計画的な改修及び修繕。 	
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進み、要修繕箇所が増大している。営農に支障をきたす箇所においては緊急的に修繕をする必要があるが、広域的段階的に改修を進めていくには、財政的にも将来の土地利用状況を想定しても困難な状況である。 県営土地改良事業（合瀬川地区）により荒井堰かかりのパイプラインが完成し、供用開始に向けて平成28年度パイプラインの試験運用を行ったが、水量の配分等に問題が生じた事などから、事業期間を1年延長し調整することとなった。 			
平成29年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> 補助等土地改良事業での計画、整備を念頭におき、修繕等順位や他事業との調整を図りながら修繕等を行う。 区要望に対する早期回答。 水管理の効率化と杣守管理の安全性の向上を図るため、荒井堰かかりの合瀬川パイプラインについて、通常配水へ移行できるよう課題の解消に努める。 			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～ 7	用排水路保守点検委託業務発注 用水管理
随時	用水路修繕等工事

□3年間の目標

目標							
	項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	
H31 年度	

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	36,383	43,216	3,500
(内特定財源)		千円	5,395	11,934	0
人工	職員	人工	0.5	0.4	0.2
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.5	0.4	0.2

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

- ・昭和 40 年代に整備された用排水施設老朽化が進行し、営農に支障をきたす傾向がある。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・補助等を活用した土地改良事業の計画を勘案しながら、修繕工事を行った。
- ・用水路や各田圃の取水口、排水口について、営農に支障のないよう早期の修繕・取替で、施設の維持に努めた。また、水門やゲートについては、点検結果に基づき、通水不良がないよう、老朽化が著しい施設の更新を行った。
- ・他事業（合瀬川改修工事）と併せ、パイプラインにより通水できるよう協議を行い、また、木津用水土地改良区により、水量が確保できるよう改修工事を行った。

■ 評価

- ・農業施設を更新することで、農作業労力の軽減と水路の通水不良が改善され、農業経営の合理化を図ることができた。引き続き、他事業を勘案しながら、施設の修繕、更新を図る。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	産業建設部 維持管理課		No.	2
事業名	道路維持管理事業			
総合計画の体系	基本目標	3	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する	
	基本施策	2	生活基盤	
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、道路施設の長寿命化を図る。			
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装、道路維持修繕等工事 ・道路樹木の維持管理 ・道路台帳更新業務 		<ul style="list-style-type: none"> ・住民団体による道路樹木の維持管理 	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、道路付属施設などの公共土木施設を建設し、管理してきたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来している。 ・平成 26 年度に道路付属物の点検として、大型看板や交差点照明について実施した。その結果としては、早急な対応を必要とするものは無かった。 ・過去における工事履歴等が台帳等に整理されているものの、舗装工事施工後の掘り返し規制に対する指導や占用申請工事等の窓口における対応時に活用されてこなかったために、窓口対応に矛盾が生じている。 			
平成 29 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・区要望に対する早期回答。 ・舗装工事について、占用工事の舗装復旧と調整を行い生活道路の快適性を向上する。 ・窓口対応時の記録を残すことにより、窓口指導等の公平性を図る。 			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	道路樹木維持管理業務の年間契約
5～3	道路台帳更新業務
随時	舗装、道路維持修繕等工事

□3年間の目標

項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
通学路の安全対策	計画実施	計画実施	計画実施	計画実施	計画実施	計画実施

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・通学路の安全対策（単独）
H31 年度	・通学路の安全対策（単独）

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	128,883	142,163	43,221
(内特定財源)		千円	0	27,555	0
人工	職員	人工	1.0	1.5	1.1
	臨時職員	人工	3.0	3.2	2.8
	計	人工	4.0	4.7	3.9

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・道路や道路施設の補修のうち、緊急性の高いものについては、早期に現地確認を行うとともに施工した。
- ・各占有者との事前相談時に、舗装復旧の調整を依頼し、コスト縮減及び快適な道路環境を維持するように努めた。
- ・要望や窓口対応時の記録を残すことに努めた。

■ 評価

- ・早期の修繕工事により、通行者の安全の確保を図ることができた。
- ・町のみではなく、各占有者にとってコスト縮減が図られ、また、手戻しの少ない舗装復旧により、良好な道路状況とすることができた。
- ・要望や窓口対応を記録することで、課内での状況共有が図られ、スムーズに対応することができた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	産業建設部 維持管理課	No.	3
事業名	河川排水路維持管理事業		
総合計画の体系	基本目標	5	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	基本施策	1	環境保全
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の維持管理を行うとともに長寿命化を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・側溝横断管等浚渫 ・住民団体への河川排水路の除草作業の委託 ・河川敷併用道路の草刈業務 		<ul style="list-style-type: none"> ・河川排水路の維持管理工事
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・河川、排水路施設を建設し管理してきたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来することが懸念されている。 ・組立水路の老朽化が進み、豪雨時に破損することがある。 ・道路側溝、排水路の暗渠化に伴い浚渫要望箇所が増えている。また、開水路においても多量の堆積物、雑草により流下能力が低下する施設があり、特に排水路敷における雑草の繁茂については、草刈の依頼が年々増加している。 ・五条川堤桜の老木化により、将来的に桜並木が保存できないことが危惧されている。桜並木の存続に向けて対策が急がれる。 ・五条川堤の桜並木及び尾北自然歩道の管理については、定期的に維持管理業務を事業者へ発注を行ってきているが、常時管理することが困難なことから手続きが遅れたりすることもあり、適正な管理ができていない状況にある。 		
平成 29 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・補助等土地改良事業で実施予定の排水路改修計画、整備を念頭におき、修繕等順位や他事業との調整を図りながら修繕等を行う。 ・浚渫要望については、現地の状況や毎年同じ箇所とならないように計画する。また、草刈についても今後の改修計画と併せ雑草対策の方法を検討する。 ・五条川堤の桜並木の保存に向け、専門家の意見を取り入れながら、枯死した幹や枝の剪定を行い延命を図る。また、存続に向けた検討をプロジェクトを含め行う。 ・五条川堤の桜並木及び尾北自然歩道の管理について、年間を通じた委託管理ができないか検討する。年間管理により、より細かな管理ができることと計画的な作業ができることとなり、より快適な環境を保つことができる。 ・区要望に対する早期回答。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ~6	各区側溝清掃土砂搬出 側溝横断管浚渫の実施（年間通じ） 住民団体による河川敷道路の除草（年間通じ）
6~	業者委託による河川敷道路の除草
随時	排水路修繕等工事

□3年間の目標

目標							
	項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	
H31 年度	

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	24,881	27,758	25,721
(内特定財源)		千円	0	2,143	3,300
人工	職員	人工	1.3	1.0	0.9
	臨時職員	人工	2.4	2.4	2.2
	計	人工	3.7	3.4	3.1

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
ふるさとづくり基金繰入金	3,300	五条川堤桜保存事業 尾北自然歩道管理委託
合 計	3,300	

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

- ・昭和 40 年代に土地改良にて整備された排水路の老朽化が進行。法面土砂流出による管理道路崩落や田圃水管理に支障が各所発生している。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・補助等を活用した土地改良事業の計画を勘案しながら、修繕工事を行った。
- ・排水路の浚渫については、現地を確認し、必要な箇所を施工した。法面等の草抑制については他事業の計画を勘案した上で施工した。
- ・五条川の桜並木保全のため、地域団体へ、五条川等河川の草刈り業務や施肥や補植木の管理を委託した。
- ・緊急性の高いものについては、早期に現地確認を行うとともに施工を行った。

■ 評価

- ・修繕工事や浚渫により、排水路機能を確保することで、内水氾濫の軽減に努めた。
- ・地域団体への委託により、地域への愛着を持っていただくとともに、年間を通し良好な景観を保持することができた。今後は、継続的に行っていただけるよう後継者の育成が課題と思われる。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	産業建設部 維持管理課	No.	4
事業名	調整池維持管理事業		
総合計画の体系	基本目標	3	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する
	基本施策	1	安全安心の地域社会形成
目的	安全で安心した生活環境を維持するため、調整池の長寿命化を図る。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 調整池の修繕工事の設計 調整池の修繕工事の施工 調整池の維持管理 		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> 余野1号調整池ポンプが排水完了前に停止する状況が続いたため、平成25年度にはポンプ分電盤修繕を行い、余野2号調整池のポンプについても取替修繕を行った。この他、施設の老朽化に伴い修繕が増えてくるとわれ、点検により不具合の早期解消をしていかなければならない。 県施設である奈良子川調節池と昭和川調整池については、愛知県一宮建設事務所から維持管理委託を受託している。※昭和川調整池については、2年ごとに江南市と交替となっている。 		
平成29年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検結果に基づき適正に維持管理を行う。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ~3 1	奈良子川 昭和川調節池の維持管理委託契約 余野等調整池の点検業務発注（町施設）

□3年間の目標

目標							
	項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	
H31 年度	

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	3,008	3,247	2,719
(内特定財源)		千円	860	860	1,840
人工	職員	人工	0.2	0.2	0.2
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.2	0.2	0.2

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
奈良子川・昭和川調節池管理委託金	1,840	
合計	1,840	

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

- ・維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)をめざす。
- ・水位計を設置したことにより、調整池の適正な管理と治水の安全性を確保する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・ 3施設の調整池について、地域団体に草刈りを委託した。
- ・ 余野2号調整池について、フェンス、排水ポンプのガイド等の修繕工事を行った。

■ 評価

- ・ 地域団体からの情報提供や直営による巡視により、調整池の適切な日常管理を図り、大雨時の一時貯留施設としての機能を確保することができた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	産業建設部維持管理課	No.	5
事業名	緑化推進事業		
総合計画の 体系	基本目標	5	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	基本施策	1	環境保全
目的	緑豊かな生活環境、秩序ある生活環境を維持するために、緑地の保全を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緑地保全地区、保存樹木を健全に保全するよう交付金を交付 ・みどりの募金事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・みどりの少年団の育成補助
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいまつりの機会に苗木を配布し、民有地の緑化を進めるとともに、緑化意識を高めるよう取り組んでいる。 ・地域で親しまれ大切にされている大木や古木、民有緑地を保全するための支援を行っている。 ・民有地の緑化推進のため大口町都市緑化推進事業費補助要綱を策定し、一定規模の優良な緑地などに補助金を交付することとした。 		
平成 29 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいまつりにおいて、苗木を配布することにより、植物の関心、植物と動物は共存すべきであり、植物の恩恵を体感してもらう。 ・民有地の緑化を推進するため、あいち森と緑づくり事業を活用した、大口町都市緑化推進事業を実施する。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	緑の募金事業 大口町緑化推進事業補助金交付申請書受付、交付決定通知
9	緑の募金事業
11	ふれあいまつり苗木配布事業
2	保全地区、保存樹木の確認及び交付金の交付 大口町緑化推進事業補助金実績報告書、請求書受領、補助金交付

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	287	3,293	3,293
(内特定財源)		千円	0	3,000	3,000
人工	職員	人工	0.1	0.1	0.3
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.1	0.1	0.3

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
愛知森と緑づくり都市緑化推進事業交付金	3,000	
合 計	3,000	

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
大口町都市緑化推進事業	3,000	3,000	あいち森と緑づくり事業 緑の街並み推進事業

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・前年度に引続き、ふれあいまつりにおいて、育てるのに手間がかからず、暑さに強い樹種を選定し、住民に苗木の配布を行い、植物に関心を持ってもらえるよう啓発した。

■ 評価

- ・樹種は、ブルーベリー、オリーブを選定し、その苗木を配布した。ブルーベリーは実がなることもあり、好評だった。
- ・「愛知森と緑づくり都市緑化推進事業」には、応募がなかった。民有地の緑化推進のため、周知に努める必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	産業建設部維持管理課	No.	6
事業名	公園維持管理事業		
総合計画の体系	基本目標	5	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	基本施策	1	環境保全
目的	住民の憩いの場所として、清潔な公園をめざす。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設の修繕 ・草刈り、樹木の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の安全点検 ・遊具の更新 	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木がかなりの成長をみせ、毎年こまめな剪定が必要になってきている。 ・樹木は生き物であり、生育をみせるが、大きくなり過ぎると近隣居住者にとっては、落ち葉等が害になりがちである。 ・松江市との姉妹提携により、堀尾跡公園周辺施設への観光者が多くなるため、トイレ等の洋式化工事などを実施した。 ・遊具の老朽化が目立ち、安全の確保のための点検、計画に添った更新が必要である。 		
平成 29 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の活動の場となり、住民に愛着をもって、利用していただくためにも、行政が全面に出て管理をするのではなく、住民の暮らしの活動の場としての公園として、住民全体の管理に移行する必要がある。 ・遊具の更新計画どおり、老朽化した遊具を更新していく。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	遊具更新工事

□3年間の目標

項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
目標	・ ・					

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・ ・
H31 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	47,939	55,775	44,352
(内特定財源)		千円	101	55	55
人工	職員	人工	0.1	0.1	0.6
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.1	0.1	0.6

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	55	
合計	55	

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
委託料 公園遊具保守点検	1,317	778	都市公園、児童遊園保守点検 余野中央公園モニュメント保守点検
工事費 堀尾跡公園水景施設ろ材入れ替工事	0	△1,296	堀尾跡公園水景施設ろ材入れ替工事
工事費 堀尾跡公園等トイレ改修工事	0	△15,694	堀尾跡公園トイレの洋式化、児童遊園トイレの建替え
工事費 萩島児童遊園下水道接続工事費	0	△1,210	萩島児童遊園の下水道接続
工事費 公園内照明取替工事費	951	951	公園内照明取替工事(水銀灯→LED照明)

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・前年度に引き続き、地域団体等に公園の草刈りやトイレの管理を委託した。また、多世代が集う憩い広場のトイレが平成30年1月より供用開始となったため、地域団体に管理をお願いした。
- ・公園遊具更新計画により、余野中央公園のちびっこハウス、下小口児童遊園の滑り台の入れ替えを行った。
- ・雑草や樹木の害虫駆除に対して早期対応し、公園を快適に利用できるように努めた。
- ・水銀灯が製造中止となることに伴い照明灯の水銀灯のLED化を計画し、外坪、二ツ屋、余野4号公園の照明をLED化した。

■ 評価

- ・草刈り等を担う地域団体の協力と施設の修繕を担う行政との役割分担で、公園を良好に維持管理することができている。
- ・外坪、二ツ屋、余野4号公園の水銀灯をLED化することにより、省エネルギー、ランプの長寿命化に繋げることができた。引き続き、他の公園の照明のLED化を進める。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	産業建設部維持管理課		No.	7
事業名	公園整備事業			
総合計画の体系	基本目標	5	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する。	
	基本施策	1	環境保全	
目的	住民ニーズに適合した快適で利用しやすい公園（広場）の計画を行うとともに、地域住民による公園の管理についても併せて検討することで、潤いや安らぎのある場・空間の整備に努める。			
事務内容	・多世代が集う憩い広場		・替地公園	
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「多世代が集う憩い広場」の計画については、基本設計方針の策定にあたり北小学校校区の地域住民とともにワークショップを行いとりまとめを行った。 ・替地公園用地の調整池の工事については、平成 26、27 年度工事予定であったが、規模を縮小したため、公園のワークショップを平成 27 年度に行い基本計画を作成し、実施設計を行い、平成 28 年度に整備工事を実施した。 			
平成 29 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・「多世代が集う憩い広場」の計画については、北地域自治組織や近隣居住者とのワークショップ等を行い、地域のニーズに適合し、かつ、管理運営を考慮した広場にするための工事を実施する。 			

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
7	多世代が集う憩い広場工事発注

□3年間の目標

目標	・多世代が集う憩広場の新規供用開始					
項目	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標
多世代が集う憩広場工程	実施設計	実施設計	都市計画 決定 工事	工事	工事 供用開始	
替地公園	基本計画 実施設計	基本計画 実施設計	工事			

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・上記に同じ
H31 年度	・上記に同じ

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度画額
事業費		千円	15,577	40,304	81,982
(内特定財源)		千円	0	0	36,000
人工	職員	人工	0.7	0.7	0.4
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	0.7	0.7	0.4

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
市町村土木事業費補助金	6,000	公園整備事業
都市計画事業基金繰入金	30,000	公園整備事業
合計	36,000	

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
(仮称) 替地広場整備工事	0	△20,304	(仮称) 替地広場整備工事
多世代が集う憩広場実施設計・協議書作成業務	4,482	4,482	多世代が集う憩広場実施設計・協議書作成業務
多世代が集う憩広場公園整備工事	77,500	57,500	多世代が集う憩広場公園整備工事

■特記事項

・多世代が集う憩い広場(旧北小学校跡地)・・・A≒12,700㎡

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・多世代が集う憩い広場は、駐車場整備や県からの補助金及び都市計画事業基金を活用し、公園内の給排水施設等整備を行った。
- ・平成 28 年度に建築したトイレは給排水電気設備を施工し、平成 30 年 1 月より供用開始するとともに、地域団体の方に清掃や異常時の情報提供をいただけるよう委託を行った。

■ 評価

- ・平成 30 年度の竣工に向け、引き続き補助金を活用し整備を行うが、公園の早期の供用開始に努めるとともに、広く利用していただけるよう広報等を活用し、PRに努める必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	産業建設部維持管理課	No.	8
事業名	町営住宅管理事業		
総合計画の体系	基本目標	3	災害や犯罪に強く豊かな生活基盤を創造する
	基本施策	2	生活基盤
目的	町内の住宅に困窮する低額所得者に対して低廉の家賃で賃貸することにより、町民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		
事務内容	・町営住宅運営管理業務		・町営住宅維持管理業務
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高額所得者等に対する措置を実施、高額所得者明渡事務処理要領に基づき高額所得者明渡請求を行う。 ・入居者への安全・安心を確保するため、住宅の維持管理に努める。 		
平成 29 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の生活を営むに足りる住宅であるよう、維持管理に努める。 ・耐用年限を過ぎ、処分制限期間を迎える老朽化の著しい住宅の用途廃止等を含め、入居者の意向を確認しながら移転の準備を進める。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
～ 3	<p>町営住宅管理業務</p> <p>[運営管理]</p> <p>毎月・・・納付書発送、督促状催告書発送</p> <p>10月・・・家賃決定</p> <p>12月・・・収入超過者認定、高額所得者認定通知</p> <p>随時・・・移転のための意向調査、相談等</p> <p>[維持管理]</p> <p>5月・・・受水槽清掃</p> <p>6月・・・簡易専用水道検査、消防設備（消火器）点検</p> <p>10月・・・消防設備（消火器）点検</p> <p>随時・・・公園・空き家等除草処理</p>

□3年間の目標

目標	耐用年数を迎える住宅の用途廃止等を含め、入居者の意向を確認し、移転手続きを進める。					
項目（単位）	H27 計画	H27 実績	H28 計画	H29 目標	H30 目標	H31 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H30 年度	・老朽住宅入所者との面談、相談窓口の開設
H31 年度	・老朽住宅入所者との面談及び相談

■事業コスト

		単位	H27 年度決算額	H28 年度当初予算額	H29 年度計画額
事業費		千円	2,025	2,301	2,267
(内特定財源)		千円	2,025	2,301	2,267
人工	職員	人工	0.2	0.2	0.3
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.0
	計	人工	0.3	0.3	0.3

■平成 29 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	15	町営住宅管理事業
町営住宅使用料	2,252	町営住宅管理事業
合計	2,267	

■平成 29 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・入所者からの修繕依頼に対し、生活に支障が出ないように迅速に対応した。小口住宅36戸については、設置後10年が経過した火災警報器の取替を行った。
- ・耐用年数の過ぎた植松住宅について、個別に入居者の意向確認を行った。

■ 評価

- ・植松住宅においては、高齢者世帯が多いため、2階以上の住宅施設への転居希望は少なかった。
- ・住み慣れた住宅からの転居は、生活環境に大きな影響を与えるため、十分なフォローアップが必要であり、用途廃止又は建替の方針決定には至らなかった。
- ・平成30年度は、小口住宅を含め、引き続き、町営住宅の今後の取扱いの検討を継続する。